

# 「バリアフリー」ムーブメント

「いざ」じゃないとき知る知識！  
「いざ」というとき引き出す知識！

vol.74

## 「障害のある人となない人が共に作り出す交通バリアフリー」

バリアフリーな社会を生きるため、必要なことを先取りしよう！

既存の製品をより多くの人が使いやすいようにしてくれるモノ、今まで使いにくかったものを使いやすくするためのモノ等、これからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や情報を紹介しているこのコーナー。

今回は「交通バリアフリーに関する情報」を紹介する。

(森川 美和)

らくらくおでかけネット トップページ  
<http://www.ecomo-rakuraku.jp/rakuraku/index/>



(画像2：乗り継ぎ検索画面)



(画像1：駅・ターミナル情報検索画面)



(画像1)に“利用予定の駅やターミナル名”を入力すれば、トイレの情報や車いすでの利用状況、駅のタイプが絵記号やイラスト等で簡単に分かるようになってる。

また「乗り継ぎ検索」(画像2)で“出発地”と“到着地”を入力すれば、所要時間、乗り換え回数、運賃等が一覧で表示される。さらに結果一覧の右上の“車いすで利用しやすい順番”をクリックすると、情報が絞り込めるので状況に合わせ項目を選択することで利用の幅が広がる。

このウェブサイトからは、駅の案内図やターミナルを一覧で見ることが出来るほか、JRグループ、大手民間鉄道各線の運行状況も把握できるのも嬉しい配慮の一つである。

### 公共交通機関における「コミュニケーション支援ボード」

6月初旬から全国の交通関連事業者に順次送付



「コミュニケーション支援ボード」は、交通機関における、聴覚障害や知的障害などの理由で話し言葉でのコミュニケーションが困難な人達や、外国の方とのコミュニケーションをサポートするためのボードである。

一般の人達向けには、エコモのトップページから、6月下旬を目途にダウンロードできるように準備中である。

【問い合わせ先】  
交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部  
〒102-0076  
東京都千代田区五番町10番地 五番町Kビル3階  
TEL：03-3221-6673 FAX：03-3221-6674  
お問い合わせフォーム：[http://www.ecomo.or.jp/ent\\_seet\\_2.htm](http://www.ecomo.or.jp/ent_seet_2.htm)  
ウェブサイト：<http://www.ecomo.or.jp/index.html>

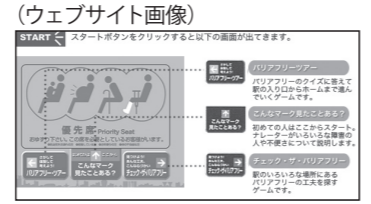
\*コミュニケーション支援ボード作成・デザイン協力  
株式会社アイ・デザイン <http://www.i-design.jp/>  
\*コミュニケーション支援ボード印刷技術協力  
株式会社ブライト <http://www.bright3.jp/>

(PR) 財団法人共用品推進機構 ☎03-5280-0020 / FAX03-5280-2373  
URL:<http://kyoyohin.org/> E-mail:[jimukyoku@kyoyohin.org](mailto:jimukyoku@kyoyohin.org)

「みんなで考える交通バリアフリー」は、遊びながら交通バリアフリーの基礎知識が身につけられるように作られている。

音声読み上げソフトにも対応しているので、目の不自由な保護者やお子さんと一緒にバリアフリーを考えることができる。

みんなで考える交通バリアフリー  
[http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/minnabf/minnabf\\_top.html](http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/minnabf/minnabf_top.html)



- \*推奨動作環境
- 【OS】Windows 98以降、MacOS 9.0以降
- 【推奨ブラウザ】Inter Explorer5.0以降
- 【必要プラグイン】Shockwave Flash 5.0以降、音声読み上げソフト
- 「PC-Talker ver.5」対応

## 子どもと一緒に遊びながら考えるバリアフリー みんなで考える交通バリアフリー

公共交通機関を利用し、出かける際に気になるのが「トイレの有無」や「エスカレーター、エレベーターの有無」などである。車いす利用者にとって、ホームから改札、改札から出口(地上)までの移動が確保されている

ことが必須であるが、ベビーカーや小さなお子さんを連れた保護者、高齢者なども、これらの情報は重要なポイントと言える。

またトイレについては、障害のあるなしに関わらず大切な情報であるが、

車いすでも入れるトイレやオストメイト対応、乳幼児用設備があるかどうかという点も事前に知っておきたい事柄である。

そこで、お出かけ前に利用したいのが「らくらくおでかけネット」である。「駅・ターミナル名」欄

## 車いす対応エスカレーターやトイレ情報をすばやく検索！「らくらくおでかけネット」

すべての人が安全で、安心して移動できる交通機関の実現を目指して「交通アメニティ推進機構」が設立されたのは平成6年のことである。それから3年後、これらの事業に加え、地球環境と共生できる交通システムの構築を推進すべく名称を変更し、新たに誕生したのが「交通エコロジー・モビリティ財団(以下「エコモ」という)である。

エコモは、設立から15年間、鉄道や旅客船等を利用する方々が、安心して移動できるよう活動を推進しているが、エコモの主な事業の柱の一つである「バリアフリー推進事業」においては、障害のある人達や高齢者等が安全かつ利用しやすくなるよう、より一層力を注いでいる。

今回はエコモが行っている活動のうち、障害のある人達にとっても便利な情報と、子ども達と遊びながら覚えるバリアフリーについて紹介したい。